

御船育ちの新成人らが 大人の自覚を胸に出発 御船町成人式

二十歳の門出を祝う平成 24 年御船町成人式が 1 月 8 日、カルチャーセンターで開催された。今年の新成人は、平成 3 年 4 月から同 4 年 4 月生まれの 232 人が対象。式には 155 人の主役が出席した。

式では、山本孝二町長が「自覚を持ち、夢を抱き、社会に貢献できる人材として、活躍することを期待します」とはなむけの言葉を贈った。新成人代表は、誓いの言葉、交通安全宣言、意見発表を述べて、大人としての自覚を固く誓った。

式終了後、新成人実行委員会が進行を務め、幼き日の姿をスライド上映。中学校時代の恩師も会場にかけつけ、再会と成長を喜び、新たな一歩を踏み出していた。



誓いの言葉を述べる前永一興さん(木倉・左)と何川美樹さん(御船・右)



上田 秀至 さん
(滝尾・社会人)



吉田 知華 さん
(滝川・大学生)



本田 成一 さん
(七滝・大学生)



人を支えていける人間
古里への誇りに刻む

私は高校卒業後、自衛官として勤めています。古里を離れ、全く違う生活の中、一人で生活していくことの厳しさや、家族、友人、仲間との大切さを実感しました。3月11日に起きた東日本大震災では、多くの人が復興のために協力していた姿を見て、さらに人とのつながり、支え合いがとても大事だと強く思いました。私もたくさんの人から頼られるよう、しっかりと人を支えていけるような人間になりたいと思います。

家族みんなありがとう
信頼されるような人に

18歳になった一昨年の4月、私は初めて家族と離れ、大学生活をスタートしました。全く知らない宮崎県の一人暮らしは、不安とともに始まった大学生活でした。常に家族や周りの人に頼ってばかりいた私。一人暮らしがこんなに大変だとは思ってもみませんでした。そんな大学生活も2年を終えようとしている今では、とても楽しく充実した大学生活を過ごすことができ

味方でいた両親に感謝
次世代を支える意識を

私が成人式を迎えられたのは、いつも身近で支えてくれた両親のおかげです。色々迷惑をかけたと思いますが、どんな時でも私たちのことを考え、味方でいてくれました。両親には本当に感謝しています。私の父は決して弱音を吐くことをしない人です。父の口から「きつい」や「疲れた」という言葉を聞いたことがありません。どんなに辛いときでも表情には出さず、いつでも頼りになるそんな父を本当

満丸亜絵里 さん(辺田見・大学生)

一つ一つの言動に責任がとれる大人になりたいです。感謝している人は家族で、尊敬する人はお母さん。忙しいのに、お弁当作りや送り迎えをしてくれるから。今、目指している社会福祉士で仕事に就けたら、今の気持ちを忘れずに、ずっと仕事に誇りを持ち続けていきたいです。



田中 裕大 さん(上野・社会人)

今から、自己管理や周りとの付き合いといった責任が重くなります。自衛官として上を見つめていきたいです。親には感謝しています。特に、おやじには。とても頼りになる存在で、家族思いなところが好きです。自衛官の試験を頑張つて、乗りきつて、負けずに頑張ります。



二十歳の今

Interview

感謝をあなたへ



國武 智仁 さん(七滝・社会人)

十歳の実感はありませんが、これからは今までと違う自分で生きていきたいと思っています。今日は、かあちゃんに感謝です。考え方が自分の理想と合っているところを尊敬しています。生涯楽しめるような生き方をします。20年後の自分は、楽しく、幸せに、生きていますか？



濱本 茜 さん(御船・大学生)

選挙権などの出来る権利が増えますので、責任と自覚がでできます。尊敬する人は母。仕事と家事を両立できるところはすごいなって。みんなから信頼される大人になりたいです。20年後も、いきいきして、仕事、家庭、趣味など、熱中できるものがあればいいですね。

Message 1

御船中時代の恩師
渡辺 誠一 教諭

日本は今、厳しい状況です。仕事も無く迷っていると思います。僕の大好きな「大空と大地の中で」という歌の歌詞に「生きることがつらいとか 苦しいだとか言う前に 野に育つ花ならば 力の限り生きてやれ」とあります。北風に飛ばされないように、頑張ってください。



Message 2

七滝中時代の恩師
農山 幸雄 教諭

最後の七滝中卒業生として、中学校が無くなり、君たちはすごく寂しい思いをしたと思います。久々にみんなの顔を見ることができて、素晴らしく成長しましたね。卒業のとき、タイムカプセルを埋めました。七滝中跡に全員揃って開けましょう。2027年1月3日10時にタイムカプセルを。



Message 3

御船中時代の恩師
赤城 孝幸 教諭

みんなと別れて、5年。君たちには、いろんなドラマがあった5年間だと思います。みんなと別れるとき、こんな話をしました。「みんなの根っ子は御船町にある。御船町を離れ、武者修行している人も、御船町に根っ子を置いて、大きな花を咲かせ、実を結んでください」って。成人おめでとう。



(参考) 新成人の住所は出身地で掲載しています

家族、友達、恩師、古里と新たな一歩。

間になりたいたいと思います。成人を迎え、一人一人が自分の行動に責任を持ち、社会の一員として、常に向上心を持ち、前進する覚悟です。この自然豊かな御船町に生まれ、仲間とこの古里を、自分たちの誇りとして心に刻んでいきたいと思えます。古里を素晴らしい町にできるような成人者として自覚を持ち、自分を失わず若者らしく、一日一日を大切に、社会に貢献できるように努力していきます。

います。それも応援してくれている家族のおかげです。日頃は言いませんが、「家族のみんな、いつもありがとう。これからも応援よろしくお願いします」。私はこれから、英語教師になるために努力します。中学校時代に英語を教えてくださいました先生のよう、時には生徒に厳しく、時には優しく、勉強以外の相談にものれる、人として信頼されるような教師に。

にすごいと思います。私も父のように弱音を吐かず、周りの人に余計な心配を掛けず、いつでも頼りになるそんな大人になりたいと思います。ここまでさまざまな人に支えられてきました。次は私たちが周りを支える番です。今までお世話になった人たちに支え、次の世代を支えることも大事だと思います。自分たちがそうされてきたように。意識を持ち、日々の生活を送りたいと思います。